

研究成果の今後の活用について

研究テーマ	東大阪市内のシニア世代が持つ移動ニーズの把握と分析
担当部署	都市整備部 公共交通課

研究を希望した理由	<p>全国的に少子高齢化による人口減少に伴う公共交通の維持が問題となっており、本市においても路線バスの減便、廃止が増えています。東大阪市では今後、JR おおさか東線や大阪モノレールの延伸が予定されており、鉄道を利用しやすい環境である反面、全国的な高齢化の進展などにより、移動手段確保に対する市民の関心も高まっています。このような状況に対し、本市の状況にあった交通手段の検討が必要であり、市民のニーズを把握するために、研究を希望しました。</p>
研究成果の概要	<p>本研究では、平地部と山麓部それぞれの地域住民を対象にインタビュー調査を行い、移動に対するニーズの把握に努めました。また併せてタクシー事業者や商店街、医療施設に対するインタビューを実施することで、需要側（住民）と供給側（事業者）の意向を照合し、今後の交通のあり方に対する提言をいただきました。</p>
研究成果の今後の活用について	<p>本課では、今年度に東大阪市総合交通戦略を策定し、「鉄道駅を中心とした誰もが利用しやすい交通環境づくり」を基本方針として、取り組むべき施策・事業をとりまとめたところです。その中の一つである「社会的・地域的ニーズに合った交通手段の確保」を目的とした施策として、令和2年度に東部の傾斜地や駅徒歩圏域外の地域において、タクシーを活用した社会実験を実施する予定となっています。社会実験を含めた施策を検討する際には、今回の研究結果も参考にしながら検討を進めます。</p>